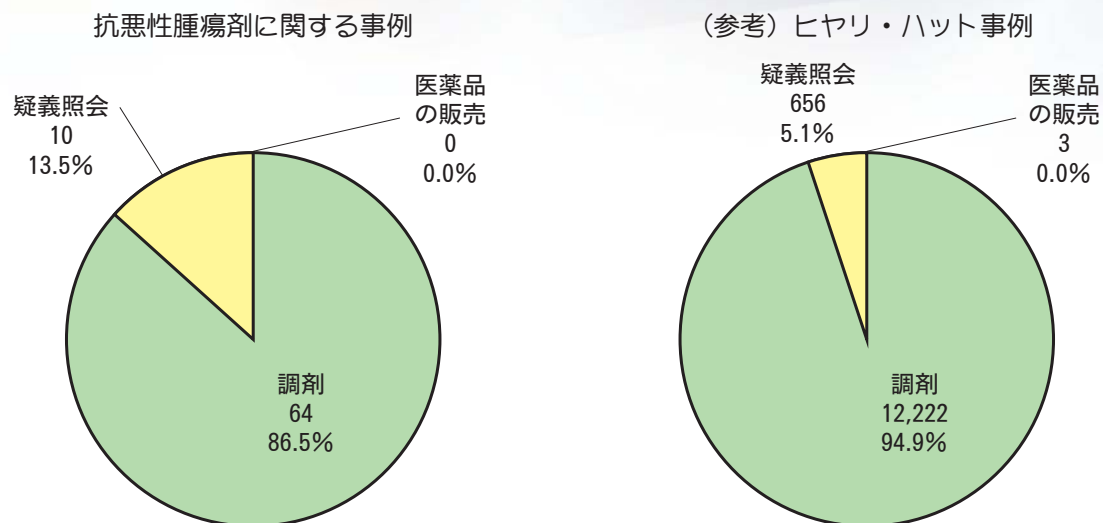


## 抗悪性腫瘍剤の処方に疑義があると判断した理由

ヒヤリ・ハット事例のうち、抗悪性腫瘍剤に関する事例が74件報告されています。

(集計期間：2010年1月1日～2010年12月31日)

そのうち、「疑義照会」の割合は下図の通りです。

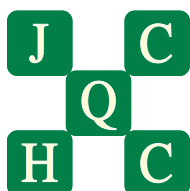


「疑義照会」の事例10件について、「疑義があると判断した理由」は下表左の通りです。そのうち、処方せん以外の情報を用いて判断した事例（オレンジ色の部分）については、「疑義があると判断する契機となった情報」を併せて示しました（下表右）。

疑義があると判断した理由	件数	疑義があると判断する契機となった情報	件数 <sup>(注)</sup>
当該処方せんのみで判断	1	休業期間における処方	3
当該処方せんと薬局で管理している情報で判断	7	前回処方と今回処方の分量の相違	3
上記以外で判断	2	前回処方と今回処方の薬剤の相違	2
計	10	他薬局が発行した薬剤情報提供文書の内容	1
		患者による薬剤の誤りの指摘	1

注) 「前回処方と今回処方の分量の相違」と「前回処方と今回処方の薬剤の相違」の両方に該当する1事例をそれぞれに計上しているため、件数の合計は事例の件数（9件）とは異なる。

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成22年年報」P194図表6-1-3、P195図表6-1-4、P195図表6-1-5を改変



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部  
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0281(直通) F A X：03-5217-0253(直通)

<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>